

# 神奈川LD協会（公益社団法人神奈川学習障害教育研究協会） 2022年度 事業計画書

## 1. 事業活動方針

学習障害(LD)をはじめ、注意欠如・多動症(ADHD)や自閉スペクトラム症(ASD)など発達障害のある子どもが必要とする教育支援の発展に寄与することを目的に、子どもやその家族を支援する教育相談活動、支援者向け研修会の開催、関連する調査研究活動等を実施する。

## 2. 事業概要



## 3. 事業内容

### (1) 研修会事業（定款第5条第2号および第3号）

#### ① 夜間ゼミの開催

- ・ ゼミ名 トラウマインフォームドケア（仮） 他
- ・ 参加費 一回3,000～5,000円を予定（平均3,200円）
- ・ オンラインでの開催を予定

#### ② セミナーの開催

- ・ タイトル はじめての感覚統合（仮） 他
- ・ 参加費 一回3,500～10,500円を予定（平均7,500円）
- ・ オンラインでの開催を予定
- ・ 学校の長期休み期間（夏休みなど）に開催
- ・ 1セミナー5時間程度（1日開催）または2時間程度（半日開催）を予定

#### ③ オンライン講座の開催

- ・ タイトル 読み書きのプロセスの理解と見る力が弱い子どもへの支援（仮） 他
- ・ 参加費 一回3,000～4,000円を予定（平均3,300円）
- ・ 主に週末開催とし、1講座2時間程度を予定

**(2) 出版事業 (定款第5条第2号)**

- ① 啓発DVD・CD等の普及
  - ・ 発達障害実践シリーズDVD、CDなど
- ② 神奈川LD協会ライブラリー「知識の森」の普及
  - ・ 全3シリーズの普及

**(3) 教育相談事業 (定款第5条第3号および第4号)**

- ① 来所による子ども相談
  - ・ ソーシャルスキルではない対人関係力をつける
  - ・ 心理相談、検査、プレイセラピー等
  - ・ 一人ひとりにあった学び方を身に付けるための指導
- ② 保護者相談
  - ・ 子どもの発達や教育の相談
- ③ おかしくらぶ
  - ・ 新たな発達障害児支援体制の方向性を探るべく、実証的検討を行うパイロットプロジェクトとして「子ども発達相談実践研究プロジェクト」を継続実施する。

※新型コロナウイルスに関連して、ご希望に応じてオンラインでの実施も予定

**(4) 調査研究事業 (定款第5条第1号)**

- ① 実践研究
  - ・ 学習支援や学校支援、保護者支援に関する先駆的な取り組み
- ② 情報収集等調査
  - ・ 先駆的な実践や研究に関する実地調査等による情報収集
- ③ 国際協力
  - ・ モンゴルダウン症協会へのフォローアップ
  - ・ 米国カリフォルニア州教育支援団体コミュニティー・マターズとの協力

以上